

## 国保

## 出産したときには国民健康保険の給付があります(出産育児一時金制度)

●問い合わせ 役場健康保険課 国保・医療係 ☎096(293)3114

**産科医療補償制度**に加入している場合の出産育児一時金の合計額は、現在と変更なく42万円(出産育児一時金40万4千円+掛金1万6千円)となります。

出産育児一時金は直接支払制

|            | 変更前  | 変更後    |
|------------|------|--------|
| 出産育児一時金    | 39万円 | 40万4千円 |
| 産科医療補償制度掛金 | 3万円  | 1万6千円  |

**国民健康保険**の加入者が出産をしたとき、出産に要する経済的負担を軽減するため、出産育児一時金が給付されます。妊娠85日以上の出産であれば、死産・流産でも給付の対象となります。

平成27年1月1日以降の出産について、産科医療補償制度の補償対象基準および掛金の見直しが行われ、出産費用の動向(平均的な出産費用は増加)などを踏まえて、出産育児一時金の額が次の通り変更になります。

度の選択により、国民健康保険から医療機関などへ直接支払われます。そのため、出産費用の支払いは、出産育児一時金の額を超えた額のみで済みます。

出産費用が出産育児一時金の額を下回る場合は、役場健康保険課に申請すると差額が給付されます。

《差額申請に必要なもの》

- ▼保険証
- ▼印かん(朱肉を使用するもの)
- ▼預金通帳など振込先がわかるもの(世帯主名義)
- ▼出産費用を証明する書類(領収明細書など)
- ▼医療機関などの直接支払制度を利用する合意文書

**勤** 務先の健康保険に1年以上加入し、退職後6カ月以内に出産した場合は、勤務先の健康保険に出産育児一時金の申請をすることができます。勤務先の健康保険から給付を受けた人は、国民健康保険からは給付されません。

※産科医療補償制度  
分娩に関連して重度脳性麻痺となった赤ちゃんとその家族の経済的負担を補償する制度。

## 相談

## 在宅医療介護に関する相談窓口業務を始めました

●問い合わせ 町地域包括支援センター ☎096(292)0770、096(292)0771

**皆** さんの「困った」を支援するのが、大津町地域包括支援センターです。

在宅医療介護連携担当は看護師の岡本です。

■福祉施設からの医療に関わる相談例

例 「往診できる医師を探している」など

■医療機関からの介護相談・退院調整などの相談例

例 「退院する患者のために条件に合うかかりつけ医を見つけてほしい」「退院前訪問に同行してほしい」など

■本人や家族からの医療・介護に関わる相談

例 「自宅で介護をしたいけど、どうしたらいいかわからない」など

**『在宅医療』『在宅介護』**とは自宅での病気や介護療養することをいいます。

**医療** 療と介護を必要とする状態の高齢者が住み慣れた大津町で自分らしい暮らしを続けることができるように支援・調整することを目指します。

## 大津町在宅医療介護連携推進事業研修会を開催しました

在宅医療と介護サービスを一体的に提供するために、医療機関と介護サービス事業者などの関係者の連携を推進することを目的としています。



デイサービス事業所向け(昨年11月20日開催)



ヘルパー事業所向け(昨年11月17日開催)

## 親子や地域のふれあい

## 大津東小ふれあいフェスタ

昨年11月16日、「大津東小ふれあいフェスタ」が大津東小学校で開催されました。当日は子どもたちや保護者、地域の皆さんなど約160人が参加し、ミニ門松や竹とんぼ、ペットボトル風車、苔玉などを作って昔遊びを楽しみました。大津中学校吹奏楽部の演奏会もあり、子どもたちは大人気のアニメの曲に合わせて楽しそうに踊っていました。



子どもたちは瀬田人の会の皆さんに作り方を教えてもらいながら、ものづくりを体験しました

## 和太鼓の日本一

## 太鼓祭inソニックシティ2014 第6回日本一決定戦

昨年11月24日、和太鼓の日本一を決める「太鼓祭inソニックシティ2014 第6回日本一決定戦」が埼玉県で行われ、「大津太鼓清流会」の高見大志さん(引水)が大太鼓の部で優勝し、文部科学大臣賞を受賞しました。大太鼓の部には東日本、西日本、北日本大会の優勝者、準優勝者など7人が出場しています。



優勝の報告に役場を訪れた高見さん

## 宝くじ助成事業でコミュニティ無線放送システムを整備

## 真木区にコミュニティ無線放送システム整備

コミュニティの健全な発展を図ることを目的としたコミュニティ助成事業により、真木区にコミュニティ無線放送システムが整備されました。このコミュニティ助成事業は、宝くじ社会貢献広報事業費を財源として財団法人自治総合センターが助成決定を行うもので、今後の真木区のますますの活性化が期待されます。



真木区に新たに整備されたコミュニティ無線放送システム

## みんなでサッカーを楽しもう!

## 東熊本青年会議所 第22回キッズサッカー大会

昨年10月26日、町運動公園で「東熊本青年会議所 第22回キッズサッカー大会」が開催されました。これは東熊本青年会議所が幼稚園児と保育園児を対象に毎年開催しているもので、今回で22回目を迎えます。大会には大津町と西原村の子どもたち約190人が参加し、園の枠組みを超えてサッカーを楽しみました。



集まったたくさん子どもたちは、保護者の熱い声援を受けながら、元気いっぱいプレーしていました